

有望系統について

埼玉県農林総合研究センター

水田農業研究所

水稲「むさしの26号」 組合せ: 埼 488(後の「彩のほほえみ」) × 中国 186 号

(1) 有望系統とその特徴

- 収穫時期は「彩のきずな」と「彩のかがやき」の間の中晩生種で収穫作業が分散できます。
- 高温登熟耐性が「強」で、平成 25 年の現地調査では全て一等米でした。
- 草姿は穂が大きな穂重タイプで早植栽培では従来品種（彩のみのもり）より 10% 多収です。
- イネ縞葉枯病には抵抗性で病気にかからない。
- お米に含まれるタンパク質含量が少ないため、ごはんは軟らかく、粘りがあり、おいしい。
- 味度メーターによる食味診断では常にトップクラスの高評価です。

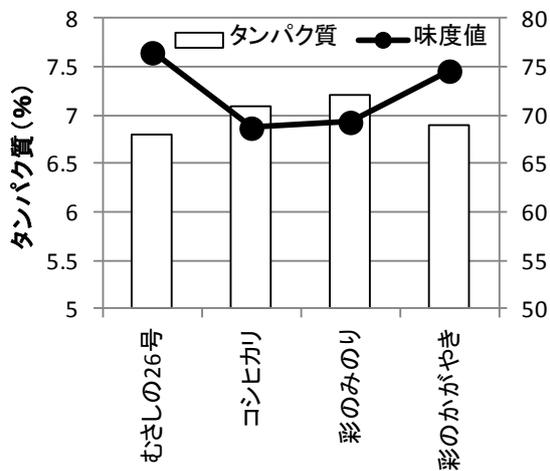


図1 タンパク質と味度値の比較

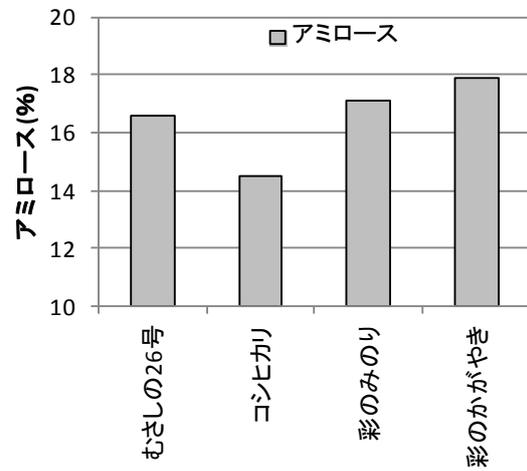


図2 アミロース含量の比較

※ 平23-25の平均値、コシヒカリの味度値は平23と平25に高温障害により大きく低下

(2) 今後の取り組み

平成 25 年度に引き続き、水稲奨励品種決定本調査及び現地調査を行います。主に高温障害の発生が心配される早植栽培地域の「彩のみのもり」にかわる品種として適応性を検討します。